

平成28年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

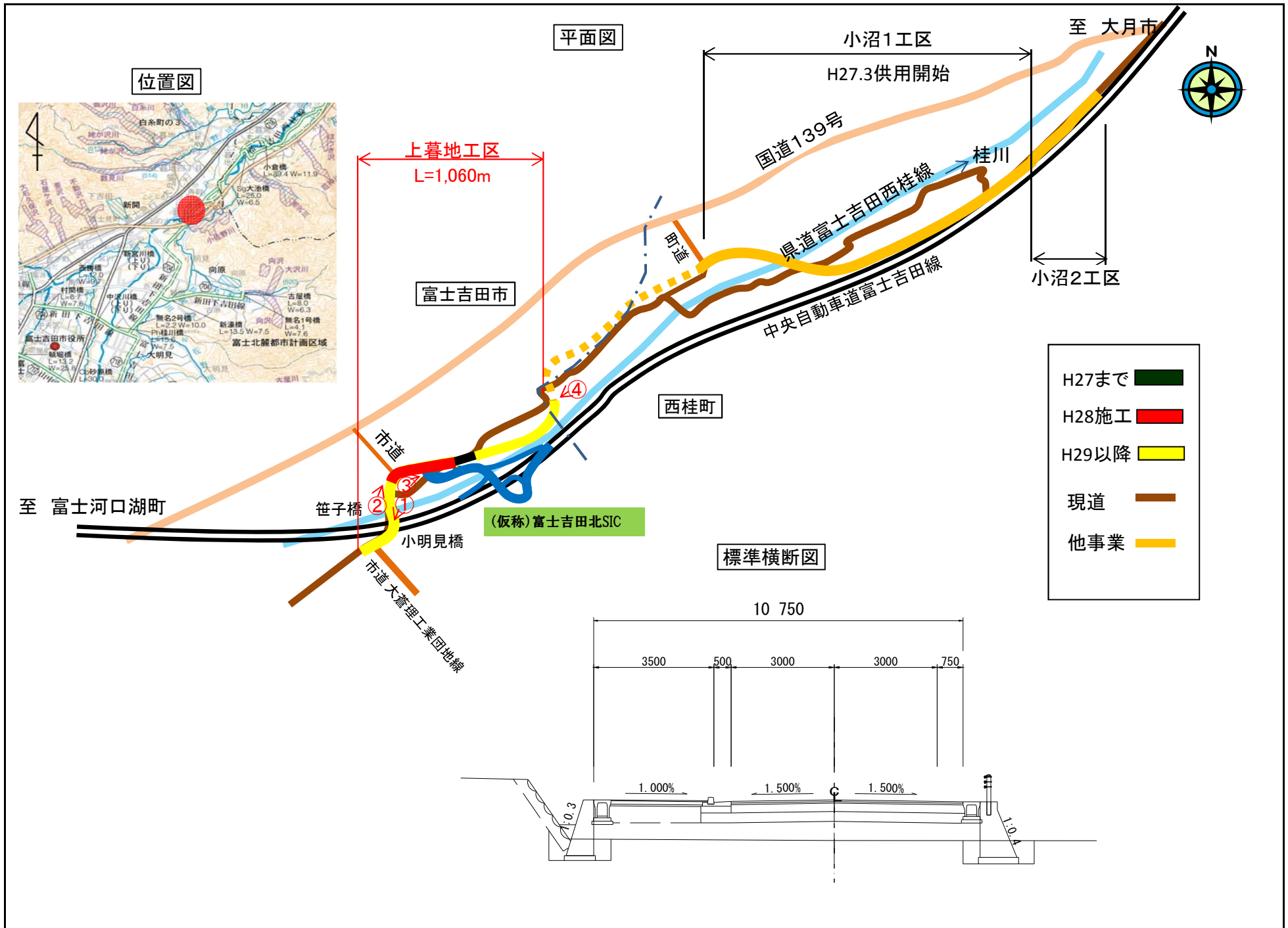
(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)]		事業箇所	富士吉田市上暮地	地区名	(一)富士吉田西桂線(上暮地工区)	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定			⑤再評価時等の評価状況 「平成20年度事前評価」 この事業は、県道富士吉田西桂線のうち、現況の道路幅員が4m程度と狹隘ですれ違いも困難な区間を、歩道整備と併せて国道139号のバイパス区間として整備するものである。本事業は、国道139号の慢性的な渋滞の緩和、朝夕の通勤、通学者の安全確保のために必要な事業であるとともに、中央自動車道富士吉田線のスマートICへのアクセス道路としての機能も期待できることから、実施が妥当である。		
計画期間	H21年度～H26年度	H21年度～H28年度	H21年度～H34年度					
総事業費	1,500百万円	—	—					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
一般県道富士吉田西桂線は、富士吉田市を起点に西桂町に至る路線であり、本県の富士北麓・東部地域唯一の幹線である一般国道139号を補完する道路である。現道は4m程度の道路であり、すれ違いも困難であるとともに歩道がないことから歩行者の安全も確保されていない状況にある。特に朝夕は、国道139号の抜け道として交通量が多く、また、中央自動車道のスマートICへのアクセス道路としての機能も期待されることから早急な整備が必要である。								
②事業概要								
計画延長：L=1,060m W=6.0(10.75) m 道路幅員：車道6.0m(2車線) 歩道3.5m(片側) 主要構造物：橋梁2橋								
③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容）								
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降					
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事 橋梁工事(小明見橋) 橋梁工事(笹子橋)	なし					
事業費	1400百万円	100百万円	0百万円					
④特記事項								
(仮称)富士吉田北スマートインターチェンジの完成が平成28年度に予定されている。 国道139号へ接続する市道改良は完了しており、平成28年度道路改良工事完了により、スマートICから国道139号へのアクセスに支障は無い。								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況								
平成27年12月に行われたスマートIC説明会において、地域住民より県道の全線供用を早期に行うように求められた。								
②産業・経済情勢								
上暮地1工区は、NEXCO中日本が整備している(仮称)富士吉田北スマートインターチェンジが予定されており交通量が増加する見込み。								
③国等の方針変更								
なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月策定)								
⑤自然環境条件等の変化								
なし								
⑥その他								
なし								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C(20年度) 便益(B)/費用(C)=1.88>1.0 再評価時計画における事業全体B/C(28年度) 便益(B)/費用(C)=1.44>1.0 								
(山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上)								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 NEXCO中日本が整備する(仮称)富士吉田北スマートインターチェンジが平成23年度に事業化された。地元やNEXCO中日本との調整に不測の日数を要し、事業期間の見直しを行った。 (平成23年度変更内容) 完成年度 当初 平成26年度 → 変更 平成28年度</p> <p>②施行済みの事業内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成27年度まで</td> <td>平成28年度 (評価実施年度)</td> </tr> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>628百万円</td> <td>200百万円</td> </tr> </table> <p>③進捗率(現計画に対する実績)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>6.7</td> <td>23.3</td> <td>30.0</td> <td>43.3</td> <td>63.3</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>4.4</td> <td>8.5</td> <td>24.0</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>83.3</td> <td>93.3</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>28.5</td> <td>41.9</td> <td>55.2</td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">H28の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 計画期間内での完成に向け、事業進捗を図ったものの、建物の移転が3件残っており、現在、交渉を継続して行っているが、条件の合う移転先が見つからない。また地縁団体の共有地(2箇所)があるが、相続が行われていないため処理に時間を要する。</p>			平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	事業費	628百万円	200百万円		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計 画	6.7	23.3	30.0	43.3	63.3	実 績	1.9	1.9	4.4	8.5	24.0		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算出方法	計 画	83.3	93.3	100.0	計画事業費/総事業費×100	実 績	28.5	41.9	55.2	実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 建物の移転が3件残っており、現在、交渉を継続して行っているが、移転先が見つからない。また地縁団体の共有地があるが、相続が行われていないため処理に時間を要することが考えられる。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み(計画期間について記載) (仮称)富士吉田北スマートインターチェンジから国道139号までの区間は、スマートインターチェンジの供用開始に合わせ、平成28年度に供用開始予定である。 残る区間は、地元富士吉田市との情報交換や不動産情報をもとに円滑な代替地確保に努め、また共有地については地元自治会の協力を得ながら進めていくため、工期を6年延長し、平成34年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性(総事業費について記載) なし</p>
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)																																										
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事																																										
事業費	628百万円	200百万円																																										
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																							
計 画	6.7	23.3	30.0	43.3	63.3																																							
実 績	1.9	1.9	4.4	8.5	24.0																																							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算出方法																																								
計 画	83.3	93.3	100.0	計画事業費/総事業費×100																																								
実 績	28.5	41.9	55.2	実施事業費/総事業費×100																																								
<p>(5) 評価項目 [環境への配慮]</p> <p>環境影響調査を行い、周辺環境に大きな影響は無い。</p>																																												
<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>なし</p>																																												
<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p>																																												
<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他 ()</p> <p>(理由) 用地買収に相当の期間を要するため、事業期間を6年間延長し、平成34年度の完成を目指す。</p>																																												

3. 添付資料シート（1）





①上暮地工区 笹子橋



②上暮地工区 現道



③上暮地工区 現道



④上暮地工区 終点部

年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H21	29,180	道路予備設計 路線測量	1.9%
H22	0	-	1.9%
H23	37,563	橋梁予備設計 道路詳細設計	4.4%
H24	60,990	用地測量 橋梁詳細設計	8.5%
H25	232,039	用地補償費	24.0%
H26	67,953	用地補償費 道路改良	28.5%
H27	200,461	用地補償費 道路改良	41.9%
H28	200,000	用地補償費 道路改良	55.2%
H29	200,000	用地補償費 橋梁工（小明見橋）	68.5%
H30	200,000	用地補償費 橋梁工（小明見橋、笹子橋）	81.9%
H31	100,000	用地補償費 橋梁工（笹子橋）	88.5%
H32	80,000	用地補償費 橋梁工（笹子橋）	93.9%
H33	45,000	用地補償費 道路改良	96.9%
H34	46,814	道路改良	100.0%
合計	1,500,000		